

赤十字さが

さがの人たちにもっと伝えたい、佐賀の赤十字。



リニューアルした佐野常民先生之像

ウクライナ人道危機と 赤十字 [P.2]

- 佐野常民生誕200年記念事業報告 [P.4]
- ラブラッド会員大募集!! [P.5]



公式 Instagram 更新中



公式 Facebook 更新中

ウクライナ人道危機と赤十字



ウクライナ東部地域で
避難の手助けをするボランティア



ブチャに残っている
高齢男性の元を訪問する
ICRC(※2)スタッフ



地元の人と赤十字ボランティアが
爆撃にあった橋を再建、
赤十字ボランティアが
数千人の避難誘導を実施



首都キーウ周辺で救援活動を行う
ウクライナ赤十字社の職員



X線防護板の組み立てを行う
日本赤十字社職員と現地放射線技師



ウジュホロドの避難所で
このところのケアの
イベントに参加する子供たち

ウクライナ人道危機の概要

令和4年2月24日以降、ウクライナ各地で戦闘が激化し、日々一般市民を含む死傷者が多数報告され、多くの人びとがウクライナ西部および周辺国(ポーランド・ハンガリー・スロバキア・モルドバ・ルーマニア・ロシア・ベラルーシ)やその他の国々に避難するなど極めて深刻な人道危機が起こっています。

未だ続く戦闘により、インフラや経済も混乱。避難民を受け入れる地域でも、医療体制の逼迫や食料安全保障の状況悪化などが報告されています。

国際赤十字(※1)の動き

国際赤十字はこの危機に対し、緊急の「救援活動」に加え、中長期的な「復興支援」も視野に、懸命に活動を続けています。

●主な支援一覧(2022年2月~7月)



※他にも、追跡調査、安全な経路での避難、捕虜訪問、性暴力を防ぐための研修や啓発活動の実施 等

日本赤十字社の動き

日本赤十字社では、国際赤十字の要請を受け、これらの活動を支援するため、「ウクライナ人道危機救援金」の募集を行い、これをもとに赤十字国際委員会(※2)と国際赤十字・赤新月社連盟(※3)に対し、50億2,000万円(各25億1,000万円)を送金しています。(令和4年8月5日現在)

また、ウクライナ国内外に職員を派遣するなどの人的支援に加え、7月には仮設診療所で使用する可搬型X線撮影装置を寄贈しました。

日本赤十字社佐賀県支部の動き

佐賀県支部では、「ウクライナ人道危機救援金」を受け付けるとともに、ウクライナから佐賀県に避難された方に対して、生活必需品が入った「緊急セット」の配布を行っています。

ウクライナ人道危機救援金

日本赤十字社 受付金額(2022年8月時点)

63億3,308万5,157円(72,469件)

うち佐賀県支部 受付金額(2022年9月時点)

4,091万1,891円(555件)



ウクライナから
佐賀県に避難された方に
「緊急セット」を配布

今後、日本赤十字社が行う直接支援について

国際赤十字に送金した額を除いた救援金は、日本赤十字社が行う次のような避難民への緊急支援および復興支援活動に充てています。

また、今回の人道危機に対しては国際的な中長期的な支援が必要であることから、日本赤十字社では20億円規模の現地への直接支援を計画・実施しています。

【具体的な支援内容(実施予定の事業を含む)】

物資支援(医療資機材等)、車両支援(救急車等)、人的貢献(専門技術を持つ職員等派遣)、こころのケア、避難民・市民の生活支援・住居支援・医療支援、医療施設等の補修・再建等(※状況により支援内容は変更されます)

引き続き皆様のあたたかいご協力を
よろしくお願いいたします。

日本赤十字社
「ウクライナ人道危機救援金」

募集期間
2023年3月31日(金)まで

**佐賀県に避難された方への
支援は、佐賀県の
「ウクライナ避難民救援義援金」へ。**

募集期間
2022年12月28日(水)まで

ウクライナ人道危機と国際人道法(※4)

ウクライナ内外で苦しむ人々のため、日赤を含めた世界中の赤十字が協力し、全力で人道支援にあたっていると同時に、紛争地をはじめ国際社会に向けて強く訴えているのが、ジュネーブ条約を中心とする「国際人道法」の遵守です。国際人道法には、次のようなルールがあります。

紛争当事者による戦闘の方法・手段は無制限ではない

攻撃は軍事目標に限定し、文民(一般市民)とその生活インフラ(病院、学校、文化財、発電所など)に無差別な攻撃(兵器の使用)は禁じられています。戦闘に従事する者と従事しない文民を区別することが人道法の鉄則です。

人道支援活動は尊重され、保護されなければならない

人々のいのちと尊厳を守る中立・公平な人道支援活動が妨害されることがあってはならず、紛争当事者はこれを尊重し、保護しなければなりません。

こうした国際人道法のルールは、「紛争地で救うことができたはずの多くのいのちがあった」という思いが今日の国際社会で共有されている証拠と考えられます。

だからこそ今、一人でも多くのいのちを救うために、「戦争という非常事態下であっても、守らなければいけない最低限のルールがある」という国際人道法の認識を、改めて社会に広めていくことが重要です。

起こってしまった戦争に対して、私たちができることのひとつは、国際人道法をより多くの人々が知り、支持し、普及させることで、紛争当事者に意識させ、国際人道法の遵守を促すことなのかもしれません。

紛争当事者が
守るべき
国際人道法
5つのポイント

- 1 民間人を狙ってはいけない
- 2 拷問や非人道的な扱いをしてはならない
- 3 医療スタッフや病院へ攻撃をしてはならない
- 4 民間人には安全な避難経路を確保する
- 5 人道団体による支援のアクセスを確保する

※1 国際赤十字・・・「赤十字国際委員会」、「国際赤十字・赤新月社連盟」、「各国赤十字・赤新月社」3つの総称。
 ※2 赤十字国際委員会(ICRC)・・・主に紛争地域で人道支援を行う団体。紛争当事者との対話(国際人道法の遵守・人道アクセスの確保)や、民間人・非拘束者の保護などを行う。
 ※3 国際赤十字・赤新月社連盟・・・主に紛争地域以外で人道支援を行う各国赤十字社・赤新月社を束ねる団体。
 ※4 国際人道法・・・武力紛争(戦争)において、負傷したり病気になった兵士、捕虜、そして武器を持たない一般市民の人的な取り扱いを定めたジュネーブ条約を中心とする国際法。

《 佐野常民生誕200年記念事業報告 》

博愛のこころを未来へ



佐野常民 生誕200年

今年は、佐野常民の生誕200年の記念の年です。佐賀県支部、唐津赤十字病院、佐賀県赤十字血液センターの県内赤十字3施設では、常民の生誕200年を祝い、より多くの人に常民や赤十字社について知ってもらうための様々なイベントを企画し、実施しています。

「佐野常民先生之像」が半世紀の時を経て、輝きを取り戻しました！

～「佐野常民先生之像」修復除幕式～



除幕式の様子

佐賀県支部の前庭に鎮座する佐野常民の胸像の修復を行い、6月9日(木)に除幕式を執り行いました。

胸像は、佐賀県を代表する彫刻家 古賀忠雄氏^{こがただお}によって昭和43年に制作され、50年以上の歳月を経て変色していましたが、佐賀県赤十字有功会により修復されました。

今回の修復作業は、佐賀市の彫刻家 諸井謙司^{もろいけんし}さんをお願いし



修復前

修復後

ました。胸像表面の緑青や汚れを落とし、人工漆などで塗装されました。

修復後の胸像には制作当時の輝きが戻り、さらに存在感が増しました。

除幕式には約50名の方にご列席いただき、佐野常民生誕200年に思いを馳せました。

博愛のこころを佐賀の子どもたちにも

～佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館を巡るバスツアー「博愛みらいバス」～

日本赤十字社では、赤十字の精神に基づき、世界の平和や福祉に貢献する子どもたちを育成する「青少年赤十字」の活動を行っています。

2022年は、青少年赤十字が日本ではじめてからちょうど100年にあたることから、佐野常民の功績をより多くの子どもたちに知ってもらうためのバスツアー「博愛みらいバス」を開催しています。

このツアーでは、青少年赤十字に加盟する県内小・中・高の児童・生徒たちが、常民の出身地である佐賀市川副町の「佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館」を見学します。

第1回目となった6月19日(日)は、神埼駅から出発し、参加者はシアター動画や館内の見学を通じて、佐野常民の生涯や日本赤十字社創設への思いについて学びました。

10月以降の参加者を募集しています。ぜひ、ご参加ください！

今後の開催予定(参加者募集中！)

対象地区	開催日	申込期限(原則)
東松地区	10月16日(日)	9月16日(金)
杵西地区	11月20日(日)	10月21日(金)
藤津地区	12月11日(日)	11月11日(金)

詳しくは「日本赤十字社佐賀県支部」のホームページをご覧ください。



参加者募集中!

献血の予約は、
献血Web会員サービス
「ラブラッド」からが便利!!
ラブラッドに会員登録すると...



ラブラッド会員 Aさん



いつでも、どこでも!
全国の献血会場への
予約ができる!

全国共通の会員サービスなので、「献血プラザさが」はもちろん、出張先や旅行先など、他県の献血会場にも予約が可能です。スマホからいつでも予約ができます。

会員限定の
キャンペーン情報や
特典が届く!

佐賀県赤十字血液センターから、随時情報がメールで届きます。お得な情報や、会員限定キャンペーンの情報はラブラッドから確認できます。

ポイントが貯まる!!

予約をするごとに、献血をするごとに、ポイントが自動的に貯まります。

貯まったポイントは「献血プラザさが」で記念品に交換できます。

血液検査の結果が
早く確認できる!

献血の後、希望すれば血液の検査結果を郵送で知らせてくれますが、会員になると、より早くスマホでいつでも確認できます。

お得がいっぱい!ラブラッドへの新規登録はこちらから! ↓



ラブラッド会員 大募集!!

現在、佐賀県赤十字血液センターでは「ラブラッド会員」を募集しています。コロナ禍ということもあり、「献血プラザさが」では『三密対策』を徹底しています。

一人ひとりの待ち時間が長ならないように、ロビーが密にならないように、献血にお越しいただく際は、できるだけ事前にご予約ください。

さらに

佐賀県赤十字血液センターの公式Twitterアカウントをフォローすれば、毎日の予約状況や待ち時間、キャンペーン情報をリアルタイムでチェックできます。ラブラッド会員登録と併せて、ぜひフォローをお願いします!

会員になると、/

お持ちの献血カードを
会員限定オリジナル
デザインの献血カードに
交換できます



献血に
ご協力いただける
企業・団体を
募集しています!



一人の献血で救うことができる患者さんの数は限られますが、一人の方が他の方にお声をかけていただくことで何倍・何十倍もの患者さんのいのちを救うことができます。多くの方にご協力いただくことのできる企業・団体献血は、とても大きな力になります。

献血バスを呼ぶ

献血バス1台の配車にあたりお願いすること

献血の種類	400mL 献血 体重:50kg以上 年齢:男性17~69歳* 女性18~69歳* 1年間に献血できる回数:男性3回、女性2回 ※65歳以上の献血は、60歳~64歳に献血経験がある方に限ります。
献血希望者数	1日:60人以上 半日:30人以上(団体)
献血バスの駐場所	全長:12m 幅:3m 高さ:4m ※バスの進入経路についても十分な広さが必要です。
受付場所の確保	会議室、事務所など ※献血申込書の記入、電子タブレットによる問診などを行います。
電源	2ヶ所(家庭用コンセント)
日程調整	およそ2ヶ月前まで



実施前のPRについて

- 日時や場所を記入したポスター・チラシを準備いたします。掲示および広報にご活用をお願いします。
- 放送、朝礼、会議、メールなどでの積極的な周知にご協力をお願いします。
- 献血PR映像による説明や、DVD貸出も可能です。あわせてご相談ください。

献血に要する時間

- バス1台で1時間に献血できる人数は10名~12名です。
- 献血(受付・採血・休憩)に要する時間は、1人あたり40分前後です。
- 特定の時間帯に協力が集中すると、待ち時間が発生し、一人あたりの所要時間が長くなる場合があります。タイムスケジュールを作成していただくとスムーズです。

5月25日(水)

コロナ禍での「しあわせ」の贈り物

全日空様からすずらの寄贈

全日空様より唐津赤十字病院へ、すずらの切り花とすずらの香りがするしおりが寄贈されました。昭和34年以降、毎年寄贈されており、今年で64回目となります。「しあわせ」の花言葉を持つすずらには、患者さんの健康と幸せへの願いが込められています。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全日空様から患者さんへの直接の寄贈は叶いませんでしたが、受け取られた患者さんはとても喜ばれていました。



すずらの切り花としおりを受け取った宮原院長、坂本看護部長

6月4日(土)~5日(日)

災害に備えて

日本赤十字社佐賀県支部常備救護班研修会

佐賀県支部では救護班を5班編成しており、今回は唐津赤十字病院の3班(17名)を対象に、赤十字の災害救護の歴史から直近の災害対応事例まで幅広い分野の研修を行いました。また、災害救護シミュレーションや避難所アセスメントシミュレーションを通して、被災地で赤十字救護班が活動するために必要な「知識」や「技術」の習得を行いました。今後も迅速かつ効果的な救護活動を行うため、研修会・訓練を定期的実施していきます。



避難所アセスメントシミュレーションの様子

7月24日(日)

キッズドクター、キッズナース、キッズ救護員になろう!

献血会場キッズイベント 制服の試着体験

献血会場子どもたちに赤十字を体験してもらうキッズイベントを、フレスポ鳥栖で開催しました。

子どもたちは「医師」「看護師」「災害救護員」の制服を身にまとい、けんけつちゃんと一緒に記念写真を撮影しました。



多くの方にご来場いただき、献血へのご協力ありがとうございました!

かわいらしいキッズドクター、キッズナース、キッズ救護員



7月23日(土)、29日(金)、8月3日(水)、4日(木)

「人のいのちと尊厳」を大切に する精神を養います

第74回青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンター

第74回目となる今年度は、感染症・熱中症対策を講じながら下記の日程で開催いたしました。

- [高校の部] 7月23日(土)(リモート会議)、29日(金)(佐賀県支部)
- [小学校の部] 8月3日(水)(北山少年自然の家)
- [中学校の部] 8月4日(木)(北山少年自然の家)

小中高それぞれの校種に分かれて行った今年度のトレセンには、県内28校から計100名が参加しました。参加者の皆さんが、講義やフィールドワークで学んだリーダーシップに必要なこと、青少年赤十字の態度目標「気づき・考え・実行する」、そして他校の生徒との交流で得た刺激を、今後自分の学校に戻ってからも学級、生徒会、部活など、様々な場面で生かして活躍してくれることを願います。



学校や地域のニーズに合わせたボランティア活動の計画づくり

6月9日(木)

令和3年度事業報告及び 歳入歳出決算が承認されました

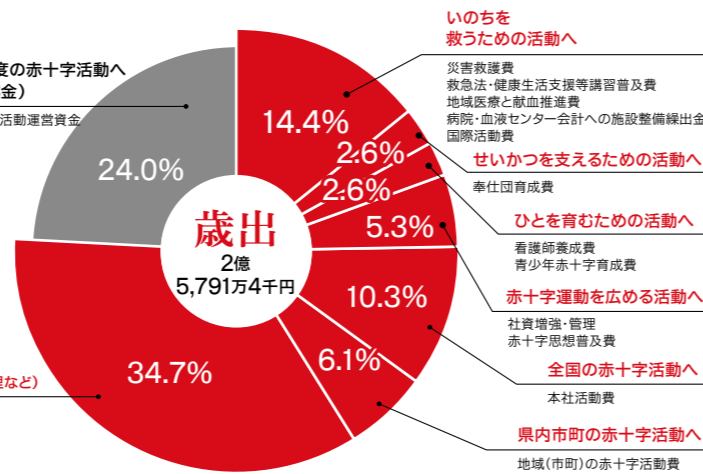
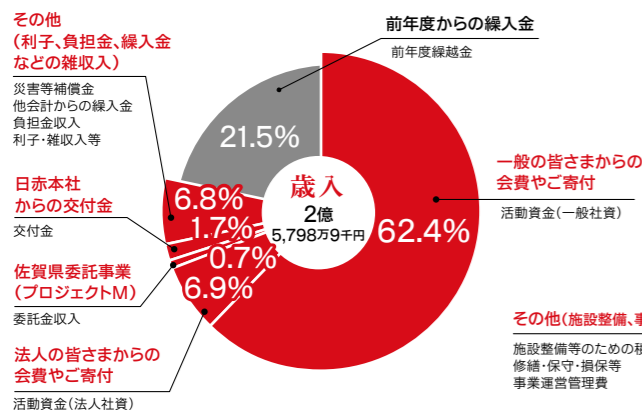
令和4年度第1回支部評議員会

評議員会は佐賀県支部の重要事項を審議する機関です。支部及び唐津赤十字病院の事業報告と決算が承認され、佐賀県赤十字血液センターの事業報告が行われました。

唐津赤十字病院 令和3年度 医療施設特別会計決算(千円)	
収入	10,100,512
支出	9,148,540
差引	951,972



令和3年度 佐賀県支部決算



注1) 前年度からの繰入れ及び次年度への繰越金は、年度当初の運転資金確保のために行っていきます。
注2) 被災者の方に全額お届けする「災害義援金」は、上記には含めていません。
注3) 歳入と歳出の差額は、災害義援金の会計処理上生じたものです。



赤十字の成り立ちについて学ぶ様子



傷病者役の人を毛布で搬送

赤十字 Supporters vol.10

サポーターズ

青少年赤十字指導者
(佐賀県立神埼高等学校 教諭)

まつ お かず ゆき
松尾 一志さん

未来のあなたへ、やさしさを。

今年、創設100周年を迎えた青少年赤十字(JRC)。

全国1万4,000校を超える加盟校の教員は、「青少年赤十字指導員」として、赤十字の精神に基づく実践活動を学校教育の中で展開しています。

そのお一人、松尾一志先生。今年5月の100周年オープニングイベントで、指導員代表としてJRC高校生メンバーとのトークセッションに参加されました。

◆青少年赤十字との出会いは？

14年前、当時勤務していた高校の部活動にJRC部があり顧問を務めたことがきっかけです。初めはとまどうことも多くありました。他の部活であれば競技や大会があり、目標設定や指導の仕方が明確ですが、JRC部は奉仕活動など生徒の主体性が不可欠となるため大変難しかったのを憶えています。最初は手探りでしたが、私自身もリーダーシップ・トレーニングセンターや指導者研修等に参加して経験を積むことで、どうしたら生徒に主体性を持たせることができるかが分かるようになり、次第に生徒たちも進んで活動してくれるようになりました。今では、卒業した多くの教え子たちが、赤十字の青年奉仕団員として活躍してくれています。

◆印象に残っている活動は？

2018年に、全国の9名の高校生メンバーと本社主催のスタディツアーに参加した経験は忘れられません。ネパールは2015年の大地震の影響により衛生環境の悪化や感染症の流行が確認されていました。JRCは1円玉募金を通して支援活動を行っており、生徒たちは現地の赤十字や学校を訪問し交流しながら、一日の終わりに必ず振り返りのミーティングをして気づきや考えを共有しました。「異文化とは何か」、「本当の貧しさとは」、「生と死とは」など日に日に深い議論になり、目に見えて彼らの成長をみるのができ幸せでした。



リーダーシップ・トレーニングセンターで熱心に指導を行う松尾先生

◆青少年赤十字の魅力は？

不易流行の精神で、「生きる力」を育ててくれるところです。青少年赤十字には、自らが「気づき、考え、実行する」という態度目標があります。誰からも命令されず、自らが課題に気づき、実現可能な解決方法を考え、実践するというものです。

この目標をもとに青少年赤十字活動を行うことで、子どもたちは主体性やリーダーシップ、人道、奉仕、国際理解・親善、健康・安全などの精神を身につけていきます。

現代はまさに激動の時代と言われますが、このような資質は、いくら時代が変わっても私たち人間にとって必要不可欠な「生きる力」だと思っています。

◆これからの青少年赤十字について一言

創設100周年の記念すべき年に、これからを考えるにはとてもよいタイミングかもしれませんね。今、世の中では様々なことが起き、時代は目まぐるしく変化しています。つつい目先のことに精いっぱいになってしまいがちですが、そんな時だからこそ、未来に視線を向けることが大事だと思います。先見することで、これからやらなければならないことが見えできます。

100周年のテーマは「未来のあなたへ、やさしさを。」です。その昔、アンリ・デュナンや佐野常民のやさしさは未来の私たちにも向けられたものであったはず。私たちも、少しだけ未来へやさしさを向けてみましょう。過去からのやさしさに気づき感謝し、今できることを考え、未来のために自分ができることを実行する。

これからも、青少年赤十字の変わらないやさしさを未来へ！



3施設問い合わせ先

佐賀県支部

〒840-0843 佐賀市川原町2番45号
TEL 0952-25-3108

唐津赤十字病院

〒847-8588 唐津市和多田2430番
TEL 0955-72-5111

佐賀県赤十字血液センター

〒849-0925 佐賀市八丁畷町10番20号
TEL 0952-32-1011

ご愛読
ありがとうございます



博愛のころを未来へ

